
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.266 2021/5/13

1 「食品安全総合情報システム」公表

4月12日、食品安全委員会が公表した標記システムに次の記事が掲載されている。
国疾病管理予防センター(CDC)が七面鳥挽肉に関連した複数州にわたるサルモネラ属菌集団感染に関する情報を公表した。その概要は以下のとおり。

1. CDC、米国農務省食品安全検査局(USDA-FSIS)等は、七面鳥生挽肉に関連した複数州にわたるSalmonella Hadar株による集団感染症について調査を行っている。
2. 2021年4月12日現在、S. Hadar集団感染株の感染者28人が12州から報告されている。発症日は2020年12月28日から2021年3月4日までであった。
3. 患者の年齢は1歳未満～92歳、年齢中央値は49歳、68%が女性である。死亡者の報告はない。
4. 聞き取り調査をした10人のうち、6人(60%)が七面鳥挽肉を喫食したと報告した。
5. USDA-FSISは、検査のために、患者の冷凍庫から未開封の七面鳥挽肉のパックを回収した結果、七面鳥挽肉にサルモネラ属菌の集団感染株が含まれていたことが示された。

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05590320104>